

2017年2月23日
東京海上ホールディングス株式会社

「健康経営銘柄」への選定について

東京海上ホールディングス株式会社(社長 永野 毅、以下「当社」)は、健康経営に優れた企業として、経済産業省と東京証券取引所が共同で選定する「健康経営銘柄 2017」に選定されました。

あわせて、当社、東京海上日動火災保株式会社、東京海上日動あんしん生命保険株式会社の3社は、健康経営優良法人・大規模法人部門(ホワイト 500)にも認定されましたので、お知らせします。

本内容は、経済産業省からも2月21日にニュースリリースが行われています。

1. 「健康経営銘柄」「健康経営優良法人」について

「健康経営銘柄」とは、従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる企業を選定するもので、長期的な視点から企業価値の向上を重視する投資家にとって、魅力ある企業として紹介することを通じ、企業による「健康経営」の取り組みを促進することを目指すものです。

選定は、1業種1社を原則とし、第3回目となる今年は、24業種から24社が選定されました。なお、**当社は2016年に続き、2年連続の選定**となりました。

また、今回初となる健康経営優良法人・大規模法人部門(ホワイト 500)は、大規模法人のうち、保険者(健康保険組合等)と連携して優良な健康経営を実践している法人を認定・公表する制度です。今回は235法人が認定され、東京海上グループでは当社、東京海上日動火災保株式会社、東京海上日動あんしん生命保険株式会社が認定されました。



2. 東京海上グループの取り組み

東京海上グループの目指す「Good Company」を創る原点は健康経営そのものであるという理念のもと、健康増進、生活習慣改善、重症化予防、メンタルヘルス等の課題に対して施策を立て、取り組んでいます。

東京海上日動では、各拠点のリーダーと、全国に配置している産業保健スタッフ(産業医、保健師、看護師)とが連携し、社員の健康増進、生活習慣の改善等に向け、PDCAを着実に実践しています。

社員やその家族が心身ともに健康であること、健康リテラシーの向上を図り、健康の保持増進に努めていくことは、社員の生産性の向上の土台となるとともに、お客様に当社の商品・サービスを選択いただく上でも、ますます重要になってきています。今回の選定を励みとし、社員の健康度の向上、お客様企業への支援の強化を図り、健康経営のさらなる拡大、発展に取り組んでまいります。



表彰式の様子

以上

(ご参考)東京海上日動の健康経営における施策

